

2016
1
No.130

広報 やまと

新しい年の訪れ

Contents 主な話題

新年のあいさつ	2～3
山都町行政機構の改編について	6
矢部高校	12
まちの話題	16～17
すくすく育て	21

1月1日、今年は天候に恵まれ、見事な初日の出とともに2016年がスタートしました。
表紙は下名連石地区丸山ハイランドの側で撮影しましたが、近くにはたくさんの方が初日の出を一目見ようと訪れていました。

新年のごあいさつを 申し上げます



山都町議会議長 中村 一喜男



山都町長 工藤 秀一

新年、明けましておめでとうございませう。町民の皆様方には、平成28年の新春を、健やかに迎えたいと、心からお慶び申し上げます。私は、山都町長に就任以来、「町民の皆さんとの対話によるまちづくり」を、一貫した基本姿勢として、一年目から自治振興区単位で「やまトーク」（みんなの座談会）を開催してまいりました。その思いは、山都町の面積は545平方キロメートルと大変広い町で、それぞれに豊かな文化があり、考え方も違うと思います。したがって、この町の行政を画一的な考え方で推進することは難しく、地域の実情に沿って進めることが望ましいと思うからです。「やまトーク」でいただいた、皆様からの貴重なご意見は、まちづくりの各施策に反映させているところです。

山都町は、九州一といわれる豊かな自然や歴史・文化など、誇れるものがたくさんあります。その中でも、蘇陽地区の火伏地蔵まつり、神楽、清和地区の清和文楽、矢部地区の八朔祭りなど、地域の方々が磨き上げてこられた伝統文化は、最も誇れるものです。

白石神楽・今村神楽・仁瀬本神社神楽・高畑阿蘇神社神楽は、重厚な太鼓や味わい深い笛の音とともに、若手による舞は見事です。

新年、明けましておめでとうございませう。

町民の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年を迎えられましたことと、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年、本町は、合併して10年の節目の年でした。また、新庁舎が開庁し新しい庁舎で業務が始まり、議会においても、新しい議場で議会活動を始めました。新しい議場には、たくさんの方々が傍聴にお見えになり、特に、高校生など若い人たちの顔ぶれがあったことに大変喜びを感じております。このたび選挙権の年齢が引き下げられたこともあり、若く、若い人たちにも本町の未来についてしっかりと考えてほしいと思っております。

議会では、本会議や委員会活動のほか、道路建設の促進について期成会を組織し、道路建設整備に係る活動も行っています。特に、九州中央自動車道は、現在整備が進められているところですが、全線開通までの見通しはまだまだの

子どもたちの神楽舞は、地域の担い手を予感させる確かなものがあります。清和中学校では、文楽継承のために所作おどりを新文楽などで披露しています。このように清和文楽は地域にしっかりと根付き、今や山都町に、なくてはならない農村文化となつています。八朔祭りの大造り物は、全国に類例を見ない唯一のもので、各連合組は威信をかけて夜遅くまで製作に取り組み、他の地域にない連帯感と伝統の技術があります。

古来、「文化が閉塞した地域は滅びる」という教訓があります。あらためて、これらの伝統文化を絶やさぬよう、しっかりと守り育てていかなければならないと考えます。

山都町の一歩の課題は、急激な人口減少です。現在、国が強力に進めている地方創生の目的の一つも、人口減少対策であります。本町においても、このほど人口ビジョンと共に地方創生「総合戦略」を策定したところでありますが、その中で4つの基本目標を掲げています。

一つ目は、山の都の特性を活かした産業振興により雇用の場を創る。

二つ目は、暮らしやすい山の都に、観光、移住・定住等の人の流れを創る。

状況です。この道路は、災害時の緊急道路として、また、周遊観光の実現、広域物流の効率化といった役割が期待されています。一刻も早い整備に向けて、決起大会や国への要望活動など、今後とも強力に働きかけを行って参ります。

そのほか椎葉・矢部・砥用線、矢部阿蘇公園線などの要望活動も行っていますが、これらの道路整備が進み、本町に光が当たることを期待しています。

町の財政においては、歳入の約半分を占める地方交付税が、合併後十年を経過すると段階的に縮減されます。自主財源が乏しい本町にとって、大変厳しい問題です。

冗長な経費を削減することはもとより、機構改革を積極的に推進するなど効率的な財政を目指していく必要があります。しかしながら、町民サービスの低下を招いてはいけません。議会においては、今後とも、効率的な行政運営について議論を深めていかなければならないと考えています。

各分野の役割

学校



「学校」は、確かな学力や豊かな心、健やかな体など「生きる力」を身に付ける場です。また、地域に開かれた学校づくりを進める必要があります。

教育の質は、教職員の力量に負うところが大きく、「教える力」ばかりでなく、子どもの意欲や能力を「引き出す力」が求められています。

家庭



「家庭」は、教育の原点であり、出発点です。家庭は、子どもたちが成長する上で、最も多くの時間を過ごす場所であり、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通して、生活習慣など生きるために必要な多くのことを学んでいきます。保護者が親として成長することも期待されています。

地域



「地域」は、子どもたちが、伝統芸能や祭りなど様々な体験や住民等とのふれあいを通して、ふるさとの良さを感じ、主体性や豊かな人間性、社会性を身に付ける場として期待されています。

また、地域の方による伝承遊びや体験活動など、学校への協力や支援も求められています。

行政



「行政」は、本町の未来を担う子どもたちが郷土への愛着と誇りを持ち、郷土に住み続けたいという想いを抱くように努めます。また、住民一人ひとりが地域に関心を持ち、つながりを深め、関係者が連携して本町の豊かな自然や歴史・文化への理解を深める機会を創出するなど、全町一体となった取り組みを進めます。

「山都町教育大綱」(その1)

本町は、平成27年度に策定した第2次山都町総合計画において、町民一人ひとりが山都町の人・食・技に磨きをかけ、将来に継承することにより、これらを『山の都』のものがたりとして紡ぎあげていくこと「輝く!!みんなでつくる『山の都』のものがたり」を将来像に掲げました。

「山都町教育大綱」は、この総合計画における教育分野の施策(事業)の実施にあたり、山都町総合教育会議(町長、教育長及び教育委員の6人で構成)において、充実した教育の振興に資するために、本町の教育に関する総合的な施策の方向性をまとめ、策定したものです。

町長や教育委員会は、この山都町教育大綱で示した方針に沿って、それぞれ所管する教育の振興に係る事務を実施します。

なお、本大綱の対象期間は、10年間(平成27年度から平成36年度まで)です。

大綱の柱

大綱では、次の4つの柱を基本として、各分野の役割(左頁)や学校教育・生涯教育の努力目標(次号に掲載)に掲げました。

学力の充実

子ども一人ひとりが「確かな学力」を身につける教育を目指します。

命を大切にする心

人権尊重を基盤とし、いじめや差別を無くす教育を目指します。

郷土への誇り

郷土の歴史や文化を学び、誇りに思う人づくりを目指します。

夢の実現

21世紀をたくましく生き、夢と希望を育む教育を目指します。

※山都町教育大綱の内容については、今号と次号の2号にわたってお知らせします。

次号(H28.2月発行号)では、「学校教育」「生涯学習」のそれぞれの努力目標を掲載します。



山都警察署・署協議会だより

TEL 72-0110

熊本県警のホームページ

http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせ等が掲載中です。

山都警察署協議会より、新春のお慶びを申し上げます。

山都警察署協議会委員一同、警察の諮問機関として、町民の皆様のご要望やご意見を警察業務に反映させることができるよう、一生懸命、職務に邁進する所存です。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



冬本番！凍結等の交通事故にご注意を！！

山都町の冬は降雪や凍結が多く、積雪や路面凍結を原因とする交通事故の発生が多くなります。

平成27年中も、凍結スリップが原因の人身交通事故が3件発生しております。

車を運転の際は、運転の必要性を判断のうえ、

- 路面環境の確認
(天気、気温、湿潤、傾斜、道幅等) を的確に行い、
- スピードを控えること
- 急なハンドル操作を行わないこと
- 急ブレーキをかけないこと

を意識して、交通事故の防止、安全運転に努めて下さい。

また、事前の備えとして

- スタッドレスタイヤ等の装着
(装着時には摩耗状態をチェック) を、更には
- 公共交通機関の利用

も含めて、計画的な運転による交通事故の防止に努めて下さい。



犯罪・交通事故発生状況(山都町)	
事件・事故	平成27年11月中
刑法犯	2件 (1件)
人身交通事故	3件 (6件)

()内は平成26年同時期の発生状況

山都町行政機構の改編について

1 清和・蘇陽総合支所について

合併後10年を経過し旧町村の垣根のない、更なる一体感の醸成と統一した行政の推進を図るため、本庁・支所間の連携・意思疎通を強化する組織体制を構築するとともに、業務の効率的かつ効果的な実施を図ります。これにより、総合支所方式から下記の改編図のとおり組織の改編を行い、行政サービスの向上を推進します。

2 隣保館について

同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題に対応する拠点として、併せて人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとしての活用を図るとともに、人権問題の解決のための各種事業及び地域社会全体の福祉の向上のための相談事業等々を総合的に実施する施設としての活用を推進します。

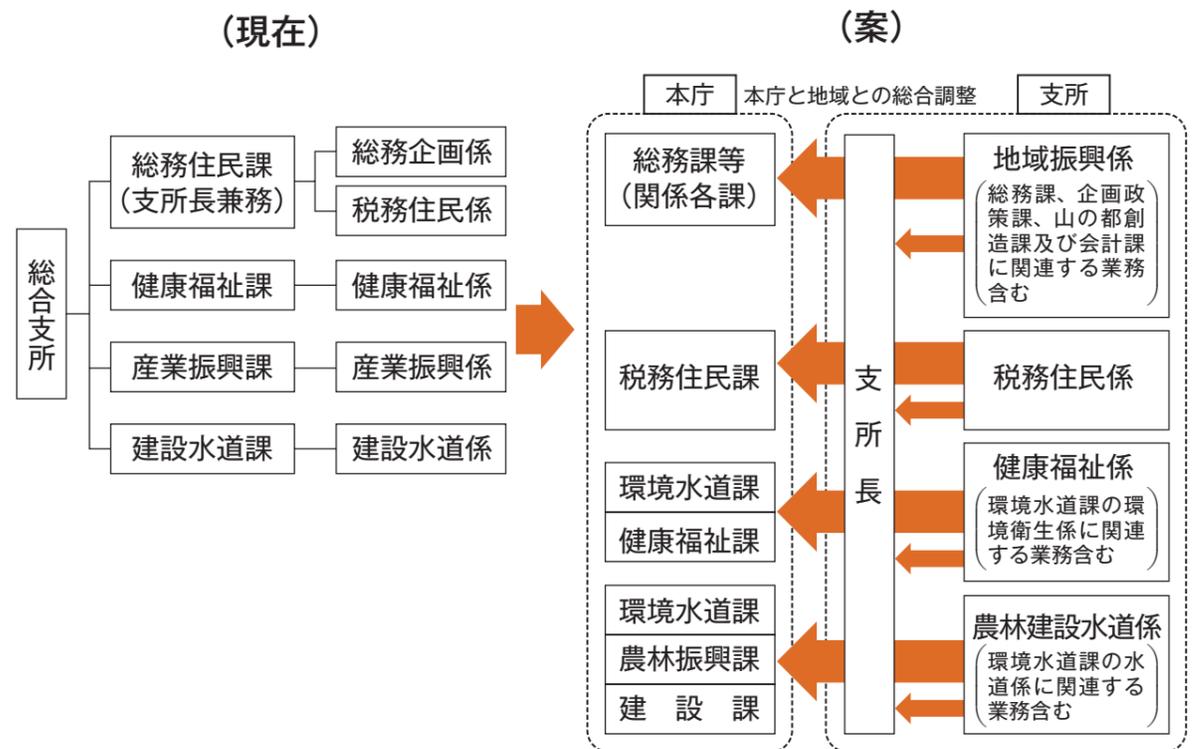
名称:山都町人権センター

所管:健康福祉課

3 農業委員会事務局について

農業委員会と農林振興課の各種業務の関連性を考慮し、より緊密な連携並びに関連業務の効率化等を促すため、農業委員会事務局を農林振興課に統合します。

清和・蘇陽総合支所の改編図



山都町の名木【第7回】

新藤造化天神のイチイガシ群

〔樹種〕ブナ科ナラ属
 〔指定等〕山都町指定天然記念物（昭和53年5月19日指定）
 〔管理者〕新藤地区

矢部地区新藤集落の天神社にある高木のイチイガシ群。推定樹齢は、約300年以上と伝わります。「造化天神璽」と刻まれた石塔の傍に位置するものは、高さ約30m、幹周り約6.6mになります。イチイガシは、カシ類のなかで最も寿命が長く巨木になる常緑樹で、関東南部から九州一帯に分布しています。一般的に、加工しやすく形質も良好な材木となることから、道具の柄、建築材など古来より様々な用途に利用されています。新藤では、今から70～80年前頃までどんぐりを団子の粉や子どもの遊びなどに使用していたようです。

この天神社は、江戸時代前期の1669年（寛文9）の地誌にも紹介されている神社で、山都町では珍しく正月15日に「竹はしらかし」という行事が催されています。これは、境内で薪や竹を燃やし、火の付いた竹を石や地面に打ち付けパンパンと音を鳴らし“竹を走らかす”ものです。この由来は、新藤の民家で火災が多く起こる原因として茅葺屋根に使用された竹が音を立てて燃える様子を“天神さんが竹を走らかして喜んでいる”と考えられたことから、火伏せの願いを込めて行われる行事と伝わります。昔は、旧暦の霜月15日でしたが、現在では1月15日に変更されています。

このイチイガシは、神社の鎮守の森として、また地域の生活や行事との関りの深い大事な樹木として継承されてきました。

〔参考史料・文献等〕
 ・北嶋雪山『國郡一統志』青潮社
 ・1996 平井 信二『木の百科一解説編一』朝倉書店
 ・新藤地区 坂本巖さんにご協力をいただきました。



唐辛子の生産に取り組みませんか

唐辛子の年間消費量は国内で1万トン、そのうち98%が中国からの輸入品で国産品はわずか2%（200t）しかありません。近年の食品問題から国内香辛料メーカーは中国産を敬遠しており、国産唐辛子が注目されています。

山都町では平成27年度より農家、JA上益城、健康食品などを取り扱うエヴァウェイ株式会社が共同で唐辛子の栽培に取り組みました。

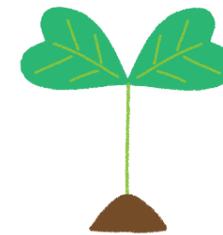
唐辛子のメリットは、軽量で負担も少なく高齢者でも簡単に取り組めることです。栽培も比較的簡単でピーマンの栽培経験があればすぐに取り組み、鳥獣害の心配もありません。企業と農家の連携で始まった今回の事業ですが、安全、安心な国産の唐辛子を求める企業と耕作放棄地等の農地を何とかしようと模索していたJAや関係機関の思惑がマッチしたこの取り組みをきっかけに山都町の特産物として大きく発展させたいと考えています。平成27年度は、22世帯で2万8千本の苗を植え付け、8月中旬から赤く熟した唐辛子を軸付きで収穫します。

栽培をご希望の方は、JA上益城第3営農センター（73-1250）へお問い合わせください。



「統計の日」を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計調査に永年にわたってご協力いただいた方々に対し、その功績を称え農林水産大臣から感謝状が贈られました。今年山都町からは、高橋伸也さん、高森雄二さんが農業経営統計調査に永年協力されたことにより受賞されましたのでご紹介いたします。

農林水産大臣から感謝状が贈られました



◎「統計の日」とは

10月18日は、昭和48年7月の閣議了解により、「統計の日」と定められました。

これは、統計の重要性について、国民の皆様に関心と理解をもちいただき、統計調査に対する一層の協力を推進することを目的に設けられたものです。

この10月18日は、我が国における近代産業統計の源である「府県物産表」に関する太政官令が布告された明治3年9月24日を、太陽暦に換算した日が10月18日だったことによります。



高橋 伸也さん（20年）



高森 雄二さん（15年）

熊本県青少年育成県民会議表彰



11月28日に行われました「熊本県青少年健全育成県民フォーラム」において、橋本早苗さんが青少年育成の部（個人）で表彰を受けられました。この賞は青少年の健全育成に関し優れた活動を行っている青少年育成者等に贈られるものです。橋本さんは矢部地区青少年健全育成町民会議発足時から中心人物として活動に尽力され、現在も一貫して活動を続けられており、また、子ども達と共に茶道を通じて高齢者へのボランティア活動を行われるなど町の青少年育成に貢献されています。





山都町の 有機農業を考える シンポジウムを 開催します



愛媛県今治市で「食と農のまちづくり条例」を作り、地産池消や旬産旬食、学校給食の充実、有機農業の振興等、市民総ぐるみの取り組みをつくってこられた安井孝氏をお招きして御講演をいただき、後半ではパネルディスカッションを開催します。

山都町で新規就農者や後継者を育てるためには何が必要なのか、有機農業を通じた地域振興で今しなければならないことは何なのか。地域での子育てと老後の生きがいを併せもつものとして育む可能性を、今治市の事例から学びながら、皆さんと共に考えましょう！

【講演】 安井 孝氏

(今治市産業部営業戦略課長 NPO 法人愛媛有機農業研究会副理事長)

【パネルディスカッション】

コーディネーター：安井 孝氏

パネラー：坂本 幸誠氏 (山都町有機農業協議会会長)

大隈美佐子氏 (山都町在住、有機農家)

原田 幸二氏 (JA 矢部有機農業研究会、有機農家)

- 日 時：平成 28 年 1 月 22 日 (金) 14:00 ~ 16:40
- 場 所：矢部保健福祉センター千寿苑 (山都町千滝 232)
- 主 催：特定非営利活動法人 熊本県有機農業研究会
山都町有機農業協議会

頑張る“わきゃもん”～山都町の明日を担う農業者にお話を聞きました～



山本 剛生 さん
下名連石
35 歳 就農 14 年

大阪の土木会社で設計の仕事をしていましたが、家業である農業を手伝い始めたのをきっかけに就農しました。米とチンゲン菜を作っています。

農業は、口うるさい上司もいないし、暗くなったら家に帰られる点はいいですが、休みが取れず収入も不安定なところは苦労しています。ですが、やはり失敗なく野菜ができたときは嬉しいです。これからものんびりと経営していきたいと思っています。



佐藤 辰徳 さん
白石
24 歳 就農 4 年

農大を卒業後に就農し、父、祖母と三人で家族経営で水稻、栗、グラジオラスを栽培しています。

これからは花卉に力を入れて、今よりも品質のいいものをより多く作れるようにし、他品種の導入も考え、少しずつ規模拡大していきたいです。

また、小中学生にソフトテニスを教えているので、そちらも頑張りたいと思っています。

☆矢仁田秀典委員より一言

専門の先生に師事し、土壌検査機も購入して土作り・作物作りに熱心に頑張っています。周年通してチンゲン菜の出荷をできるようになってきていますし、あとはパートナーを早く作って欲しいとみんなが思っています。頑張ってください。

☆鞍岡真二委員より一言

大野地区唯一の 20 代の農業後継者で、一生懸命頑張っておられます。その分地元の期待も大きいですが、一歩ずつ確実に前進してください。



12月交流会を実施しました♪
今回は山都町でゆっくりしてもらおうと、そよ風パークにてパン作りと、クリスマス直前ということもあり、クリスマスリース作りを実施しました。
そよ風パークに到着後、バイキングでお腹を満たし、最初はパン作りです。それぞれに与えられた個数を自分のパンとして形成作業。焼き上がったパンには個性があり、売ってあるなら買う・買わないとワイワイガヤガヤでした。焼き立てを食べた男性は、美味しい♪と発声！みんなのほころんだ笑顔が印象的でした。
次に、クリスマスリース作成ですが、初めての体験だったようで最初は戸惑いが見られましたが、男性と女性の役割分担で切る人、付ける人と、テンポよくリースが出来上がっていき一方、会話するのも忘れずとリースと向き合う場面もありました。完成品は女性へのお持ち帰りで、職場に・自宅玄関に・と終始笑顔の交流会となりました。
最後は、女性の「長崎鼻展望台に行ってみたいです」との声から、雄大な九州のランドキャニオンを見て山都町をあとにしました。

・問い合わせ先

YOU&YOU 事務局 (役場 山の都創造課) 山本・吉田
【専用電話】 090-9565-9589
【専用アドレス】 marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp
【専用アドレス携帯】 you_and_you@docomo.ne.jp

YOU
&
YOU
通信
vol.
103
♡

マイナンバー通知カードは届きましたか？

マイナンバー通知カードが配達された時に、家に不在で受け取れなかった方の通知カードは山都町役場に返還されています。3ヶ月間保管することになっていますので、その間は、次の書類を提出されることにより、役場窓口にて受取りが可能です。
役場に返還されているか、また受取り方法の確認が必要ですので**まずは電話で問い合わせください。**事前に電話でお問い合わせいただくことで、各総合支所でもマイナンバー通知カードを受け取ることができます。

※マイナンバー通知カード受取り時に必要なもの

来庁者	持参するもの
本人	<ul style="list-style-type: none"> 本人確認書類 《注1》 来庁者の印鑑
同一世帯の人	<ul style="list-style-type: none"> 本人確認書類 《注1》 来庁者の印鑑
代理人 (同住所で別世帯の人を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 代理人の本人確認書類 《注1》 委任者の本人確認書類 《注1》 委任状 《注2》 来庁者の印鑑
法定代理人	<ul style="list-style-type: none"> 代理人の本人確認書類 《注1》 委任者の本人確認書類 《注1》 法定代理人であることを証明する書類 《注3》 来庁者の印鑑

《注1》 次の①もしくは②の書類

- 顔写真付きの身分証明書 1点
(例) 運転免許証、住民基本台帳カード、パスポートなど
- 顔写真が付いていない身分証明書 2点
(例) 健康保険証、介護保険証、年金手帳、医療受給者証など

《注2》 本人から委任を受けたことが証明できるもの

《注3》 登記事項証明書、戸籍謄本などその資格を証明する書類

お問い合わせ先

- 税務住民課 戸籍住民係 電話 72-1172
- 清和総合支所 総務住民課 電話 82-2111
- 蘇陽総合支所 総務住民課 電話 83-1111



「高校生最後の演習林実習を終えて」

12月8日に緑科学科3年生9名で最後の演習林実習を行いました。矢部高校が所有する鍛冶床演習林のクヌギの伐倒実習を行い、午後からは、1年間無事に実習ができたことや山からの収穫物に感謝の気持ちを込めて、山の神祭りを実施しました。



今回、伐倒したクヌギは春先まで置いて水分を減らした後、1・2年生が玉切りし、シイタケの種駒打ちを行っていきます。先輩から後輩達へと受け継いでいきます。3年生にとって最後の演習林実習ということで、寂しそうな表情を浮かべる生徒もいましたが、みんなの思い出に残る演習林実習となりました。

「大好きな実習」



(緑科学科3年 甲斐 翔陽くん)

私は、3年間の実習でチェーンソーや刈り払い機の使い方、伐倒の仕方、また、林業の必要性について学びました。4月には、緑川森林組合で仕事をします。3年間で学んだことを生かし、精一杯頑張りたいと思います。

最後に、クラスみんなと楽しく実習ができて、最高の思い出ができました。みんな、本当にありがとう。

「地元の問題を真剣に議論できる大人へ」

12月8・9日に1学年全員で山都町議会の定例会の傍聴に行きました。普通科と緑科学科が傍聴した8日は議員の方の一般質問が行われ、食農科学科が訪れた9日は議案審議が行われていました。

一般質問では山都町のこれからの戦略や移住定住対策、統合保育園建設について等多岐にわたる質問が行われていました。

議案審議では最近配付が行われた個人番号(マイナンバー)についての審議が行われ、議員の方々の積極的に質問される様子など地元の問題を真剣に話し合う大人の世界を見ることができました。18歳になれば高校生でも選挙に投票することができるようになります。しっかり考えて投票してほしいです。



みんな山都町のために真剣に考えているので、見ている側にも思いが伝わりました。こうやって情報を知ること町で現状が見えてくるのもっと多くの人に見てほしいと思いました。

(普通科1年 石原さん)

【初見学・体験】「矢部の巻き柿」

12月14日に食農科学科2年生21名が山都町犬飼地区で巻き柿作りをされている農家を訪問しました。

【今月には矢部高校で巻き柿作り体験を予定】

ゆずマーマレードも好評販売中です



食品製造の授業でクリスマスケーキ作り



A3 上村さんの作品(マイメロディ)

●お問い合わせ・本館 73-1616 ・清和 82-3033 ・蘇陽 73-2755
●休館日：全館共通（月曜日・月末日・祝日・お盆・年末年始）

図書館情報

—読書とは自分の魂に出会うことです—

蔵書点検による休館日のお知らせ

下記日程において図書館は休館となります。お手数ですが、返却本は各館の返却ポストへの返却をお願いいたします。DVD・CDは破損の可能性がありますので、返却ボックスへの返却はできません。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

●蔵書点検・図書館整理実地

全館休館期間：平成28年1月21日（木曜日）～2月1日（月曜日）

返却期限を過ぎた図書館の本がご自宅にごいませんか。蔵書点検にあわせて未返却本の確認を致します。ハガキや電話などで貸出の本について、お尋ねすることがございますので、ご理解・ご協力頂きますよう宜しくお願い致します。一人でも多くの方に図書館の本をご利用いただく為に、期限内返却にご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

★平成28年2月のわくわく号運行予定★

※天候・道路状況により巡回が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。



蘇陽地区

月日	巡回場所・時間
2月3日(水)	蘇陽南小学校(午後1時20分～) 馬見原保育園(午後1時30分～) 菅尾保育園(午後2時15分～) 二瀬本保育園(午後2時45分～) 蘇陽小学校・配本(午後3時～) 蘇陽キッズ(午後3時15分～)
2月4日(木)	ブルーベリーの家(午前10時10分～) おおのまなび舎CAFÉ(午前10時30分～) 蘇望苑(午前11時～) 蘇陽総合支所(午後0時30分～) 蘇陽中学校(午後1時30分～) そよ風の里ほたる(午後2時15分～) はあとふる(午後3時～)
2月5日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花上多目的集会所(午後0時30分～) 大迫公民館(午後2時15分～) 菅尾コミュニティセンター(午後2時45分～) まこと薬局駐車場(午後3時30分～)

清和地区

月日	巡回場所・時間
2月9日(火)	小峰保育園(午前10時～) 緑川簡易郵便局(午前10時40分～) 清和総合支所(午後0時30分～) 清和中学校(午後1時10分～) 大川保育園(午後1時30分～) 清和学童(午後3時～)
2月10日(水)	山都消防署(午前10時～) 井無田公民館(午前10時30分～) 井無田診療所横(午前11時～) 原尻公民館(午前11時30分～) 清和小学校(午後1時～) 支援ハウス(午後1時40分～) 市野原(午後2時～)

矢部地区

月日	巡回場所・時間
2月17日(水)	金内公民館(午前9時45分～) ころろ(午前10時30分～) 島木のお店(午前11時～) 矢部中学校(午後1時15分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時30分～) 大地(午後3時～)
2月18日(木)	御所保育園(午前9時40分～) 稲生野(午前10時15分～) 山風華(午前10時45分～) 山都町役場(午後0時30分～) あおぞら(午後1時35分～) 富士ラーメン(午後2時～)
2月19日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時35分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑・すみれ(午後2時～)

※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸出しに必要ですので必ずお持ちください。
※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。巡回場所での滞在時間は約30分です。
※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいますので、返却期限での返却にご協力ください。

山都町図書館だより

声の灯り
— 100号 —

◎秋のミニミニ絵本カーニバル in 蘇陽

◎福祉祭りでお楽しみ会が開かれました

11月20日・21日に、蘇陽地区馬見原公民館にて「秋のミニミニ絵本カーニバル」が開催されました。会場となったホールにはクリスマスの絵本を始め、たくさんの楽しい絵本が展示されました。初日は手遊びや大型絵本の読み語りなどの「お楽しみ会」と、「おー!トカゲを作ろう」のワークショップがありました。可愛らしいトカゲに子どもたちは大喜びで、楽しんでくれたようです。2日目は「お楽しみ会」と、「マイバッグを作ろう」のワークショップがありました。今回の絵本カーニバルは、会場に展示してあるすべての絵本を貸出ししましたので、子どもたちはさっそく作ったマイバッグに借りた本を入れて嬉しそうに持ち帰っていました。

また、11月22日に開催された福祉祭りにて「お楽しみ会」が開かれました。手遊びや、パネルシアターや絵本の読み語りなどがありました。こちらも多くの方に来場いただき、楽しいお話の世界を体験して頂きました。



マイバッグ完成



自分たちで作ったワニと記念写真

二輪車競技部が工場見学へ

12月24日、本田技研工業株式会社熊本製作所（以下、HONDA）へ矢部高校二輪車競技部が工場見学に行きました。HONDAの二輪車は、販売台数、売上規模ともに世界首位であり、生産拠点である熊本製作所ではエンジンや各 부품の生産加工から、完成車組み立てまで一貫した生産ラインを持っています。見学通路からは人手による作業が多く見られ、安全と精度を保つための様々な工夫がしてあり、作業する方々の真剣なまなざしと丁寧な手さばきに生徒も興味津々でした。

また、熊本製作所では耕運機や刈払機などの汎用製品も製作しており、学校の授業で農機具を使用している生徒も、世界に通用するものづくりのすごさを実感していました。今回、工場見学に行き、生徒たちは「バイクはもちろん乗り続けていきたいけど、今後の就職活動にも役立てたい」と話していました。



浜美荘への慰問

10月23日、「馬見原女性の会」の支援部の方々が浜美荘を訪問されました。馬見原女性の会は、浜美荘の夏のイベント夕涼み会でも踊りを披露されたこともあり、浜美荘へは度々訪問されています。今回も馬見原追分踊りや蘇陽音頭などを披露され、入所者の皆さんも大変喜ばれていました。

また、11月6日には津留地区の「白鳥会」のみなさんが浜美荘を訪問されました。白鳥会のみなさんは3年ほど前から「ひょっとこ踊り」に取り組まれており、白糸第三校区のふるさと祭りや、山都町老連芸能大会などで踊りを披露されています。福祉施設への慰問は今回が初めてでしたが、軽快な音楽と踊りに、会場は笑顔と拍手で溢れました。

踊りの後は入所者の方々と談笑され、久しぶりの再会を喜ばれていました。



馬見原女性の会



白鳥会

高畑サロンのぞいてみませんか？

11月24日東竹原自治振興区・高畑公民館で山都町地域支え合い体制づくり地区座談会を開催しました。

※地域支え合い体制推進事業とは

山都町は現在の介護予防事業を平成29年4月より新総合事業に移行します。その中で地域支え合いの体制は重要です。先進的な取り組みをされている東竹原自治振興区・高畑サロンを紹介します。

高畑地区では月1回の公民館掃除の後に手工芸をしています。若い年代の方も集まるようにサロンは午後7時からの開催です。農閑期には月2回実施しています。今回の座談会で共通理解ができたのは「高畑サロンを絶やさず続けていこう!」という意気込みです。

高齢化率の高い山都町では、簡単なようで一番難しいことかもしれません。高畑地区の皆さんは取り組み方が前向きで、皆で力を合わせて創り上げていかれています。展示物は高畑地区の皆さんがサロンで作られた物です。囲炉裏、竹細工、パッチワーク、毛糸の編み物、手芸品、盆栽、観葉植物、鉛筆画、手作りのお人形、折り紙で作った飾り物など素晴らしい作品ばかりです。展示会は今後も毎年11月頃に開催されるそうです。ぜひ一度足を運んでみて下さい。



清和地区子育て講演会

11月20日清和集落センターにおいて、清和地区青少年健全育成町民会議及び清和地区保・小・中連携協議会主催による「子育て講演会」が開催されました。熊本大学附属病院発達小児科助教の上土井貴子先生による「脳を育む生活リズム～なぜ今、早寝・早起き・朝ごはん!?～」と題しての講演に、保育園・小中学校の保護者や教職員、民生委員、地域の方など約100名が参加しました。

講演では、生活リズムや食生活が子どもの脳の成長や日常生活にどのように影響していくのかについて、科学的な根拠に基づいて話していただきました。

上土井先生は、脳の発達には環境が影響することから、「規則正しい生活」「光（朝日を浴びる、夜は暗くする）」「栄養」「休息」「運動」「質のいい睡眠」そして「親が笑顔でいること」、「誉めること」が、子どもの心と体や脳の成長に大切なキーワードであることを、ご自身の診察や子育て経験などを交えながら、わかりやすく、詳しく説明されました。

最後に講演に対し、清和中PTA会長の春木優一さんから、「貴重なお話の中で親として反省する点も多々あったが、生活リズムと脳の関係がよく理解でき、子育てに活かしていきたい。」との謝辞がありました。



スポーツの結果

第11回支部体協対抗サッカー大会
11月4日～20日 15チーム参加

1部
優勝 … 御所体協
準優勝 … 中島東部体協 A

2部
優勝 … 中島東部体協 B
準優勝 … 下矢部西部体協



優勝 御所体協

魅力アップ塾

12月18日、山都町女性の会主催による魅力アップ塾の第1回が清和集落センターで開催されました。山都町内の男女39名の参加があり、ホワイトリリー次長の宮本晴美氏による「10歳若返りからだとお肌の健康法」、熊本大学准教授の田中尚人氏による「地域の問題点と解決法を考える」と題した講演会とワークショップが開催されました。ワークショップでは、初対面の参加者が多く、山都町の隠れた魅力や地域に対する思いについて熱く話し合いが行われ盛り上がりを見せていました。

次回は1月22日の18時から中央公民館において、メイクの方法や熊本大学の徳野教授をお招きし、地域づくりに関する講演会が行われます。



誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

子どもたちの人権作文

12月の人権旬間にあわせて、子どもたちが書いた人権作文を
1・2月号でご紹介します。今月は2名の作品を紹介します。
(今月は清和小 藤川美優さん 矢部小 徳山杏寿さんの作文
を掲載し、来月号には 蘇陽小 興梠優斗さん 矢部中 上田
駿さん 矢部高 岡崎真美さんの作文を掲載します。)

「おかあさんのじい」と

清和小学校
1年 藤川 美優さん



わたしのおかあさんは、びよ
ういんのかんごしです。じんぞ

を勉強しました。私は村の人た
ちはすごいと思います。私だつた
らいじめにまげず誇りに思うこ
とはできないと思います。

私たちは同和保育所にも行っ
て話を聞きました。町の保育園
は0才児は預からず、八時から
三時くらいまでしかみてもらえ
なかつたそうです。それでは、安
心して預けられないので同和保
育所を造つてほしいと何度も要求
をされたそうです。同和保育所
が建てられて最初は、園児さん
は少なかつたそうです。ですが
年々、園児さんの数が増えていき、
一つ部屋を増やさなければならな
くなつたそうです。園児の数が
増えていったのは、信頼関係を築
いていったからだと思ひます。私
もいろいろ人と信頼関係を築
いていきたいです。

私のみぢかにも差別はありま
す。ある男の子が少しまぢがえ
ただけで、まねをして笑つたり、
わざとおこらせるようなことを
している人がいます。私は、そ
のことを注意できませんでした。
でも、村田さんのお話を聞いた
あとは、「ダメだよ。いやがって

うのびようきで、おしっこがで
なくなつてしまい、からだのだ
くそが、そこにだせなくなつた
ひとのちりようをしていきます。
とうせきりようほうといいま
す。一にちおきに、ちりようを
しないといのちのきけんがあり
ます。
おかあさんがたいへんなの
は、かんじゃさんに、ふといは
りをさすことです。いたいおも
いをさせるので、しっぱいしな
いように、まいにちきんちよう

いるよ。」と言へるようになりま
した。人がいやがっていること
してはいけない。差別をなくし
ていきたいという気持ちが強く
なりました。

私のひいばあちゃんは、山の奥
にすんでいてすぐ近くに病院がな
かつたため、病院に行くのも苦労
してました。ある時、子ども
が熱をだして、病院に行かない
といけなくなり、車がなく、山
の道を歩いて病院に行つたそう
です。早く医者にみせないとけな
い病気で子どもは亡くなつてしま
いました。その時、車さえあれば、
助かつていたかもしれせん。ひ
いばあちゃんがそこに住んでいた
のがわるいわけではないです。

道や車が通らないのは人の命
にかかわるといふことです。こ
れは村のこととにていると思ひ
ます。村の人も命にかかわるか
ら道を広くしてほしいと思ひて
ました。私は、ひいばあちゃんの
気持ちがどれだけかなくかつたか
分かります。だからこの世の中
からこんなことがなくなるよう
に差別をなくしていきたいです。
私が差別をなくしていきたいです。

しているみたいです。ちりよう
がおわつて、かんじゃさんから
「ありがとうございませす。」と
いつてもらうとうれしいそう
です。「がんばろう」とげんきが
るといいました。「いのちをま
もるために、あさの七じからよ
るの七じまでとうせきがありま
す。だから、かえりがおそくな
ることがあります。
おかあさんのげんきのもと
は、しごとからかえつて、わた
しのはなしをきくことだそう
です。わたしは、おかあさんの
びつくりしたかおやたのしいか
お、わらつているかおをみたい
です。ねるじかんがちょっとお
くれることもあるけど、おかあ
さんに学校のことをいっばいは
なしたいとおもいました。びよ
ういんにいっつたら、おかあさん
が、かんじゃさんとにこにこし
ながら、たのしそうにおせわを
してました。わたしは、とて
もうれしかつたです。おかあさ
んのおしごとしらべをして、わ
たしはげんきをたくさんもら
いました。

「私が差別をなくす」

矢部小学校
6年 徳山 杏寿さん



私たちは、隣保館と児童館に
行きました。隣保館では、村田
さんに話を聞きました。

村の人たちは部落差別を受け
ていたそうです。道を広くして
と頼んでもなかなか広くして
もらえず、学校の先生からは、「あ
なたたちは勉強せんちやよか。」
などと言われ、友達からも仲間
はずれにされていたと聞きました。
私は、その事を聞き腹が立
ちました。村の人たちは、なに
も悪いことはしていないのに、差
別やいじめを受けるなんておか
しいです。でも、村の人は自分
の村を誇りに思っていたそうで
す。いじめを受けながらも、村
で勉強会を開き差別のことなど

そよかぜ学級・和光教室並びに議会議員及び公的機関関係者人権講演会

12月2日(水)に
蘇陽地区及び清和地
区で人権講演会を開
催しました。

講師に落語家の桂
ほんぼ娘さんをお迎
えし、「いじむ」と「い
じめ」は大違い、そ
の一言が傷つけるこ
を演題に講演してい
ただきました。

講演では、桂さん
の幼少期から高校生
までに受けてきた壮
絶ないじめ体験やそ
れが原因で自殺も考
えた過去についてお
話していただきました。

また講演だけにと
どまらず落語や小話
もしていただき、会
場は和やかな雰囲気
に包まれました。
参加者はそれぞれ
自分の想いと重ねな
がら熱心に講演に耳
を傾けていました。



桂 ほんぼ娘さん



会場のようす



すくすく育て

平成27年11月5日 (十寿苑)



4か月



4か月



4か月



4か月



4か月



7か月



7か月



7か月



7か月



1歳



1歳



1歳



保健センターだより

山都町の健康課題



平成 27 年 4 月 1 日現在の山都町の人口ピラミッド



左のグラフは男性と女性を0〜5歳刻みにどのくらいの人がいるのかを見ています。50歳以下の若い世代が非常に少ない現状です。山都町の高齢化率は42%。他の市町村と比べてもとても高い数字です。少子高齢化を乗り越えていくためには、あらゆる世代の人が自分の健康は自分自身で守っていかねばなりません。そのことが山都町の未来を守ることにつながるのです。

健診結果からみえる町の健康課題



山都町
検査項目別有所見者
割合ワースト3はこれだ！

- 1位 **ヘモグロビンA1c 76%**
- 2位 **血圧 46%**
- 3位 **LDL コレステロール 45%**
- 4位 血糖 38%
- 5位 肝機能 27%
- 6位 肥満 20%

平成26年度の集団健診結果で有所見者がもっとも多かった検査項目1位のヘモグロビンA1cは糖尿病の診断基準となる検査です。正常な人の割合はわずかに2割ほどしかおらず、8割近くの方が基準値より高いという結果が出ています。続いて血圧、LDL(悪玉)コレステロールとなっており、どちらも5割近くの方が基準値を超えているような状況です。その背景には山都町全体の生活習慣を見たときに毎日1合以上の飲酒の習慣がある方が49%、運動習慣のない方が78%と高値であり、このような生活習慣が影響していると考えられます。

これらはいずれも血管を傷つける要因と言われ、自覚症状がないまま進むと動脈硬化となり、心臓や脳、腎臓などの大事な臓器の病気を引き起こす恐れがあります。それらを未然に防ぐためには特定健診を受けることが重要です！

ただ健診を受けるだけでは検査値は改善しません。検査結果をしっかり確認する必要があります。自分に合った健康づくりに取り組むためには、まず健診を受け、健診結果を理解し生活習慣を見直すことが大切です！



自分の健康を守るためにはまず**健康チェック!**

がん検診もお忘れなく **年に1回、健診を受けましょう!**

平成 28 年度保育所等新規入所申込みについて

平成 28 年度の認可保育所等の新規利用申込について、一斉受付の期間を設けて対応します。山都町への転入前のお子様についても受付が可能です。

詳しくは、町ホームページに掲載しております、「平成 28 年度支給認定申請・保育所等利用申込ガイド」をご覧ください。

なお、一斉受付期間終了後も、随時入所申込は受け付けますが、期間中に申請された方から優先的に入所の調整を行います。

- ◎受付期間 平成 28 年 1 月 22 日（金）まで
- ◎受付場所 役場（各総合支所）健康福祉課
- ◎提出書類
 - ①施設型給付費・地域型保育給付費等支給認定申請書兼保育所等利用（継続利用）申込書
 - ②承諾（誓約）書
 - ③食物アレルギー調査票
 - ④保育の必要性を証明する書類
 - ・就労証明書、家庭状況証明書等

※申込書類については、役場（各総合支所）健康福祉課に取りに来られるか、町ホームページによりダウンロードしてください。

必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も

熊本県最低賃金が改正されました。

(1) 地域別最低賃金

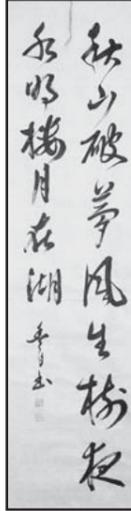
最低賃金の件名	時間額	効力発生年月日
熊本県最低賃金	694円	平成27年10月17日

(2) 特定（産業別）最低賃金

最低賃金の件名	時間額	効力発生年月日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	738円	平成27年12月13日
自動車・同附属品製造業、船舶製造・修理業、船用機関製造業	787円	
百貨店、総合スーパー	712円	

産業別最低賃金には、適用範囲があります。詳しくは、**熊本労働局労働基準部賃金室（電話 096-355-3202）** 又は最寄りの**労働基準監督署**にお尋ねください。

書道



和光教室書道部の八田 豊久さん（入佐 作）

季節のうた

馬見原酔山会

秋の夜と産声響きわたりけり 高田ゆかり
 庭先の筵で爆ぜら大豆かな 渡辺 勝子
 神の留守パワースポット訪ねけり 高田 眞司
 やまなみの会「山脈」 本田 七郎
 老松の手入れの心松に聴き 草樹 萌
 可憐さを一人占めして野菊咲く 岩村ヨシ子
 阿蘇谷の一望黄金の稲穂 小野 紀子
 病む夫と雑談していら姉妹は顔は紅色声高くなり 今村 芳子
 雨戸しめ闌となりたら部屋に座し台風無事にすぎると祈る 木下スエオ
 カナカナの鳴く夕暮れは淋しくて人恋しさに佇む我は

通潤句会

家康も道具も神木の葉散ら 菅 清次郎
 恙なくおわす余生や報恩講 西田えい子
 狐師らも犬も老ひたりけもの道 中村 暢子

清和短歌会

娘夫婦の去りたら後の空白と埋むすべなし特老の夜 山本 フサ
 溢れ湧く感謝の湯気のりへの風呂白衣二人に今日も生かされ 寺崎 修史
 一日と雲一つなく照り映えて刈り終えし田に吾が影にぶし 梶原 徹

交通標語

まもろつよ じぶんのいのち てをあげて 鍋島 明莉（蘇陽小学校）
 しんごつを きちんとまもり じいぼつし 藤原 星奈（蘇陽小学校）

山都町の人口

〔平成 27 年 12 月 31 日現在〕

男	7,789人 (- 8)
女	8,383人 (- 4)
計	16,172人 (-12)
世帯	6,659戸 (- 1)

- ※（ ）は前月比
- ※最高齢は 106 歳〔女性 1 人〕
- ※平成 27 年 12 月の出生者数 8 人
- ※平成 27 年 12 月の死亡者数 13 人

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も広報やまをご愛読よろしくお願ひいたします。

大晦日に御岳地区男成神社の幻想的な竹灯りを見ながら「今年もあと数時間。」と一年を振り返りました。元旦は下名連石地区丸山で初日の出を見ながら、「2016 年が始まった！」と気が引き締められました。年末年始も走り回りましたが、そこで目にしたのは素晴らしい光景でした。2016 年は一人でも多くの方へ感動した光景をお伝えできるよう広報やまづくりを目指します。（椎木）



山都町観光案内所

ギャラリー喫茶
ルポン ☎72-1054

(営) 9:30~17:30 定休日: 毎週水曜日、年末年始
 〒861-3513 熊本県上益城郡山都町下市158 舩田 安代

『渡辺ヒデカズ 作陶展』

期間: 平成28年1月5日(火) ~1月31日(日)まで

御船町田代吉無田 蝸窯の渡辺ヒデカズさんの作品を展示します。ご自宅の食器棚、出窓の一輪挿し、リビングのランプや時計など、気に入る作品を見つけてみてください。



山都町カレンダー 平成27年 1・2月

18日	公民館支館長会議／中央公民館	1月	矢部高校応援町民会議 町立図書館休館日 集合税(町県民税・固定資産税・国民健康保険税)8期納期限 償却資産(固定資産税)申告期限
19日	食農観光塾		
20日	やまトーク／島木 矢部地区移動図書	2日	
21日	町立図書館休館日 法律相談日／千寿苑	3日	蘇陽地区移動図書
22日	やまトーク／緑川・木原谷 町立図書館休館日 熊本県有機農業研究会及び協議会によるシンポジウム／千寿苑 魅力アップ塾／中央公民館	4日	蘇陽地区移動図書
		5日	蘇陽地区移動図書 やまトーク／中島西部
23日	町立図書館休館日 九州山地神楽祭り／蘇陽総合支所 二瀬本神楽／二瀬本コミュニティセンター	6日	やまトーク／下名連石
24日	高田整形外科／☎72-1007 町立図書館休館日 第33回熊日都市対抗女子駅伝／びぶれす熊日会館前	7日	伴病院／☎72-0029 やまトーク／御岳西部
25日	町立図書館休館日 集合税(町県民税・固定資産税・国民健康保険税)8期口座振替日	8日	やまトーク／二瀬本
26日	町立図書館休館日 やまトーク／清和中部	9日	清和地区移動図書 やまトーク／菅尾
27日	町立図書館休館日 お知らせ版発行日	10日	清和地区移動図書 やまトーク／大野 広報やまと発行日
28日	町立図書館休館日	11日	建国記念日
29日	町立図書館休館日	12日	やまトーク／浜町C
30日	町立図書館休館日 やまトーク／浜町B	13日	上益城地域がん講演会 in やまと／千寿苑 第61回愛林駅伝競走大会
31日	坂本クリニック／☎72-0210 町立図書館休館日	14日	野田医院／☎72-0307

(当番医)
(お知らせ)
(イベント)
(発行日)



私の一枚



タイトル：静かなとき
撮影者：小野 敏治
撮影場所：通潤橋

「私の一枚」作品募集 応募方法

山都町浜町 187「フォトサークル山都運営局」への「写真の持ち込み」「山都町内の写真」に「限定」致します。(内容は何でも結構です)

タイトル、撮影者、撮影場所、コメントを作成していただきます。

掲載する写真はサークル内での厳選な審査で決めた写真になります。

なお発表は掲載をもってかえさせていただきます。

〒861-3518

熊本県上益城郡山都町浜町 187

TEL：0967-72-3455

フォトサークル山都事務局

(パソコンショップあひる倶楽部)

【コメント】

いつも見慣れた我が町のシンボル通潤橋も冬景色ともなればどこか優しくなる光景になります。

年々、温暖化の影響により見る機会が少なくなっていますがたまには冬の地元の散策するのも又、乙なものです。